

輝く

ふくろいの



対戦相手も言葉の壁も全力突破！

女子ラグビーチーム「アザレア・セブン」
ナタリヤ・コザチユクさん(愛野)

「家族を置いて日本に来ることは迷いもありました。でも、今はたくさんの方々と素敵な仲間たちに囲まれて幸せです。日本に来て本当に良かったと思います」

青々としたフィールドを前にそう語るの、ウクライナ出身のナタリヤ・コザチユクさん。25歳。エコーパを拠点に活動する女子ラグビーチーム「アザレア・セブン」のメン

バーでポジションはスクラムの要となり、力強いプレーが求められる「フロップ」です。

ラグビーで生きていくため
遠く離れた日本へ

来日以前、ナタリヤさんはウクライナのラグビーチームで選手として活動しながら14歳以下の子ども

もたちのラグビー指導もするなど、まさにラグビー一色の生活を送っていました。

しかし、昨年2月からのロシアによる軍事侵攻がその生活を激変させました。ナタリヤさんが住んでいた街も戦禍に巻き込まれ、ラグビーを続けることが困難になっていったといいます。

そんなナタリヤさんのもとに『日本の女子ラグビーチームがチーム強化や人道支援のためにメンバーを募集している』という情報が舞い込んだのは5月のこと。

「安心してラグビーができる環境に行きたいという気持ちがある反面、家族と離れることや海外生活への不安もありました。でもこのチャンスを見失ったら絶対に後悔すると思ったんです」

多くの迷いもありましたが、意を決して応募。そして8月、晴れてアザレア・セブンのメンバーになったのです。

日本語も一生懸命勉強中

異国の地での生活で、まずクリアしたいのは言葉の壁。ナタリヤさんは日々の練習やトレーニングの合間を縫って日本語学校へ通い、今では日本語で簡単な会話か

できるようになりました。また、新たに加入した外国人選手の通訳も行つなど、その上達ぶりはメンバーも絶賛。しかし、まだまだ課題があると本人はいいいます。

「日本語は同じ発音でも違う意味を持つ言葉がたくさんあるので、よく聞き間違いをしていますが、アザレア・セブンのみんなは、私のためにジェスチャーを使ってゆっくりと話してくれますが、まだ完璧に聞き取ることができないので、もっと日本語を上達させたいですね」

力強いプレーで相手を圧倒し 目指せ「アチー」昇格！

ナタリヤさんは、3月25日(土)・26日(日)にエコーパスタジアムで開催される公式戦「リージョナルウィメンズセブンズ2022」を控えています。

「アチー」昇格が懸かった大事な試合です。得意のコンタクトプレーを生かして私も全力で頑張ります。ぜひ現地で応援をお願いします！」
1年前は想像もできなかった、日本のフィールドに立つ自分の姿。自ら掴んだチャンスを活かして、これからも更なる飛躍を遂げたいと、心に誓いさせている。

